

## 5 沖縄森林管理署の転出入職員

(2) 沖縄署に異動してきた職員より（ご挨拶）

### 「沖縄の皆様よろしく申し上げます」

流域管理調整官 坂梨哲章

8月1日付けで福岡署より当署の流域管理調整官を拝命し、8月4日に沖縄空港着予定としていたところ、あろうことか台風9号が発生しており、着任予定が危ぶまれたことから3日の変更に余儀なくされ（結果8月4日午後3時頃から暴風域に入り6日正午頃まで、実に2001年以来10年ぶりの1日半以上に渡る停滞台風となりました）無事着いたものの、来て早々の特別休暇、宿舍缶詰状態を経験し、流石の「台風沖縄」を経験させられました。



燦々と照りつける太陽、どこまでも続く透きとおった藍い海、南国特有の色鮮やかな花々に感動・感激する中、「やんばる」「西表」の国有林に生存・生育するヤンバルクイナ・イリオモテヤマネコ等の希少な野生動植物にまだ観ぬ期待を膨らませながら、今後も海中生物を含めた亜熱帯特有の生き物たちとのふれあいを楽しみたいと思っております。

今までと全然違った自然環境の中、変わらないのは単身生活ということですが、流域管理という新たな業務を全うするためにも健康にも気をつけて頑張りたいと思っておりますので、沖縄の皆様よろしく申し上げます。

### 「沖縄に戻って参りました」

業務課長 竹永泰雄



4月1日付けで鹿児島北薩森林管理署より赴任しました。国有林での沖縄勤務は初めてですが、沖縄は2回目になります。

前回の沖縄勤務は、平成20年度から21年度の2年間環境省に出向し、那覇自然環境事務所石垣自然保護官事務所で野生生物関連を担当しておりました。希望もありまして南国の青い海が忘れられず再び沖縄が恋しく戻ってまいりました。

今回も国立公園、希少種、鳥獣保護等、前回経験した関連事業も多く何かの縁もあったのかと考えているところです。環境省の皆さんにおかれましては引き続きよろしく願いいたします。

沖縄にまいりまして、世界一の大綱引きも経験させていただきました。30分の長さにはダウンすることかと思ったところです。また那覇マラソンの参加者の多さに圧倒され見学もしました。次回は老体に鞭打って10km程度のロードにでも参加でもしたいなと思っています。そのためには体重の減量と体力調整が否が応でも出てくるのかなと思っています。趣味の登山も西日本を主に年間100山程度登山しておりましたが、沖縄には目立つ山がないことと、交通手段も少ないため、当分の間登山はお預けとし、代わりにツーリングや全島制覇を目指した島巡りを時間の許す限りしたいなと思っています。

また前回見るができなかった自然の中のイリオモテヤマネコとヤンバルクイナはぜひとも直接見てみたいなと楽しみにしているところです。

沖縄の地で再び勤務させていただくことに感謝しつつ、業務を始めまた多趣味も交えながら全力投球していきたいと考えています。いろいろな面で、沖縄署の皆さんを始め、沖縄県内の皆さんにお世話になることかと思いますが、よろしく願いいたします。

## 「二回目の沖縄署勤務です」

大原森林事務所 首席森林官 田中 清公

4月1日付けで当沖縄森林管理署大原森林事務所に赴任しました田中です。前任地は宮崎森林管理署都城支署えびの森林事務所で、単身赴任8年目になります。

出身は鹿児島県薩摩川内市ですが、採用が昭和53年の青森局で、雪の多い津軽半島に4年、その後出水署を経て、常夏の島沖縄署の安波担当区（国頭村）で2年勤務となりました。沖縄を出て、11回の転勤を経てふたたび沖縄にお世話になっております。



25年前になりますが西表島へ旅行で来たことがあります。現在、西表島には大原と祖内に2つの森林事務所がありますが、当時は上原にも担当区事務所がありました。上原の松井主任、祖内の田口主任が私の同期だったこともあり、彼らの案内で島を回り、西表の自然を満喫したものでした。

当時と比べて、現在の港・道路・トンネル等が整備され変貌したことに驚いています。また、前の大原事務所の周辺には大木が覆い茂っていたことを記憶していますが、今はすっかり開けていて驚いています。

沖縄は2度目とはいえ、大原の業務が前任地だった宮崎の森林事務所と全く違う内容に戸惑う事が多くあり、竹富町役場の関係者をはじめ地元の皆様の協力を頂きながら、円滑に進めて参りたいと思いますので、皆様よろしくお願いたします。

### 「沖縄の皆様よろしくお願いたします」

総務係長 坂口 繁

昨年4月1日付けで九州森林管理局総務課から沖縄森林管理署総務係長に異動しました坂口繁と申します。



いままで九州内ばかりで初めての沖縄勤務となりますが、暑い時期が長い、みんな「かりゆし」を着ているほか、沢山の見慣れない沖縄料理など当初は異国に来たような気分でした。

業務でも飛行機と船を乗り継いで西表島に行ったり、植樹祭の準備で渡嘉敷島へ何度も定期航路に乗って出張するなど沖縄署の管轄（沖縄県）の広さと大変さを痛感いたしました。その沖縄も慣れるしたがって、普通の風景、普通の料理、普通の出張となってくるから不思議です。

また、業務や普段の生活などを通じて、沖縄の皆様と接することにより、沖縄の言葉、習慣なども少しずつですが分かるようになってきました。

折角の沖縄の勤務ですので、貴重な人生経験としても有意義に過ごしたいと考えております。沖縄の皆様よろしくお願いたします。

### 「はじめての係長ですが頑張ります」

ふれあい係長 濱田 巧

4月1日付けで、福岡森林管理署筑穂森林事務所から沖縄森林管理署に赴任しました濱田と申します。



沖縄署でふれあい係長をやらせていただいておりますが、これまで現場で森林官をやっていて、この職務が初めての本署の係長ということもあって、分からないことも多く、沖縄の皆様や署内の職員に助けていただきながら毎日を過ごしております。

着任当初は、初めての県庁所在地（都会）での生活、慣れないバス通勤、交通渋滞や内地にはあまりない道路事情に慣れるまでが大変でした。

また、沖縄の夏は日射しが強く、時には強い台風が襲来し停電があり、不便なこともあります。冬は暖かく、寒さに弱い私にとっては過ごしやすい気候です。春が近づくと、プロスポーツ選手が自主トレやキャンプなどで、沖縄を訪れるスポーツ選手の姿を実際に見ることを楽しみにしております。

沖縄の青い海や大自然を満喫し、伝統文化に触れ、公私ともにがんばろうと思っています。

沖縄の皆様、どうぞよろしくお願ひします。

## 「沖縄の戦後史を勉強中です」

管理係長 岡田 有帥



4月1日付けで沖縄森林管理署に赴任しました、岡田と申します。当署では主に国有林野貸付などの管理業務を担当しております。

今回の赴任が、長崎出身の私にとって初めて沖縄の地に立つ機会となりました。それと同時に、今まで知らなかった沖縄の実情及び歴史について、多くを学ばせていただく機会に恵まれました。

戦後の琉球政府から日本復帰前後の混乱期や、離島における入植や集落衰退の経緯など、沖縄の戦後史については、管理の業務上で過去の書類を調べるにつけていく内容で、この歴史を知っておかないと、管理業務を円滑に進められないと認識するようになりました。

戦後の歴史について、沖縄にお住まいの方からすれば、常識的なこともあろうかと思いますが、それらについては全くもって今までの私の勉強不足ゆえ、大いに反省し、赴任から半年以上経過し、沖縄の歴史について少しずつですが体得しているところです。また、地方の歴史民俗を知ることに関心を持っておりまして、これらの知識が役に立つ管理業務にやり甲斐を感じております。

今度も円滑な業務の遂行を図るとともに、沖縄の歴史についてもより深く学び、さらにはこの貴重な機会でご得られた知識を発信していけるように努力して参りたいと存じます。

沖縄の皆様、引き続きよろしくお願い致します。